

#### 4週目：創世記23：1～25：18、ローマ4：18－25、ヘブライ書11：8－16

##### 1日目：創世記23：1－24

サラの長い人生が幕を閉じました。サラのためにお墓を用意するアブラハムの深い愛情と謙虚さが光ります。エフロンが土地を無償で提供しようとしたのですが、アブラハムは代金を支払いました。アブラハムは神様に祝福され地位が高くなっても、権利を要求するような態度は取りませんでした。

##### <深く考えるための質問>

- 1) 祝福され、有利な立場に置かれることによって、権利を要求するような態度を取ったことがありますか(教会のリーダーになることも含めて)。また、周りに権利を要求する態度の人はいますか。そのような人を見て、どう思いますか。権利要求スキーマは、クリスチャンにとって破壊的なものとなる可能性があります。十字架の前で砕かれ、要求ではなく、謙虚に依頼する態度を常に意識しましょう。
- 2) 他国民や他宗教の人を見下すこと、偏見や差別などはありませんか。アブラハムのヘト人への接し方から何を学べますか。

##### 2日目：創世記24：1－4

アブラハムは老人となり、人生の終わりに近づいていました。その中でイサクの結婚相手に強い関心を持ちました。カナンの娘ではなく、アブラハムの一族から妻を選ぶように指示をしました。この時点では神様は外国の女性と結婚してはいけないと明らかにしていません。しかし、アブラハムは信仰に基づいて考え、神様のビジョンを果たす上で重要な判断をしました。申命記6章では、私たちは3世代に渡って神様を愛することを教えるように命じられています。

##### <深く考えるための質問>

- 1) クリスチャンとしての結婚相手についてどのような考え方、聖書的な確信がありますか。なぜこれは重要なことなのでしょう。
- 2) 3世代に渡る信仰を持つことを考えた時に、自分の信仰にどのような期待を持つべきですか。

##### 3日目：ヘブライ書11：8－16

ヘブライ11：13に書かれている信仰とは、約束されたものを手に入れることができず、はるか彼方にそれを見つつ神様を信じ続けた信仰です。アブラハムは他者と自分を比較して、苦々しくなりませんでした。彼の信仰は成長し続けました。神様はより素晴らしい都を建ててくださっているとアブラハムは確信していました。神様の働きの一部を見て充分だと思えました。イサクの誕生だけで充分でした。実際に自分の子孫が星の数のようになることを目にできなくても、彼は神様を信頼していました。このようなアブラハムの信仰がその後の全ての信仰のヒーローの手本となりました。それにより、彼は信仰の父と呼ばれるようになりました。

皆さんは約束されたものが見えず、手に入らなくても満足できますか。何を見、何を経験すれば神様を信頼できるでしょうか。多くの場合、私たちは奇跡が常に当然のようにあることを期待します。そのような考えを持つと、過去に神様が与えてくださった奇跡を簡単に忘れてしまいます。他者と比べて不満を持つこともあります。他者が成功しているように感じると、すぐに不信仰になることがあります。そのような態度は欲しい物を要求する甘やかされた子どものようですね。信仰によって生きる態度ではありません。信仰の祖先はそのような信仰の持ち主ではありませんでした。

<深く考えるための質問>

- 1) ヘブライ11章にある信仰の特徴の中で最も関心のある特徴は何ですか。それはなぜですか。
- 2) 今までの信仰生活において、誰かの信仰に感動したのはいつ、どのような時でしたか。なぜ感動しましたか。
- 3) 生涯の終りに自分の信仰生活について評されるとしたら、具体的にどのように言われたいですか。そのようになれることを信じて祈りましょう。

#### 4日目：創世記25：1－18

アブラハムはサラの死後、ようやく後妻を迎えました。当時の裕福な男性には複数の妻が認められ、当然のことであったので、そのようにしても良かったのです。多くの試練ある人生だったアブラハムですが、与えられた恵みに感謝し、満足していました。後妻ケトラや他の側女を通して多くの子どもが生まれました。しかし、その子どもたちには贈り物のみを与え、イサク一人に全財産を残しました。それは、イサクが神様の約束を果たすために定められた人物であったからです。アブラハムの死の際には、イサクと共にイシュマエルもアブラハムを葬りました。イシュマエルにも12人の子どもが与えられて祝福されました。それは創世記16：10と21：17で神様がハガルに約束した言葉の実現でした。神様は、時間を掛けるかもしれませんが、必ず約束を果たします。イシュマエルを祝福されましたが、彼の家族とイサクの家族は不一致のままで多くの問題が残りました。サラの不信仰な計画によって、後に罪や傷が生じたのです。

私たちが犯す過ちの結果は、長きに渡って人を傷つける可能性があります。大きな決断をする前によく考え、その決断が長期的にどのような結果につながるかを見通す必要があります。この地上では蒔いた種を刈り取ります。神様は罪を赦してくださいますが、この原則は誰にとっても当てはまります。信仰の父でさえ蒔いた種を刈り取ることになりました。

<深く考えるための質問>

- 1) アブラハムがケトラを始め、多くの女性を通してイサク以外に子供を産んだことは神様の計画でしたか。なぜイサクには全財産を残し、他の子どもには品物しか与えなかったでしょう。
- 2) イシュマエルはアブラハムの死の際にイサクの前に現れました。2人の関係はどうだったでしょう。アブラハムは2人の不一致に傷ついたのではないのでしょうか。今、人生の終わりを迎えたら、不和のままで後悔する関係はありませんか。そのような関係があるならば和解できるよう祈りましょう。

5日目：ローマ4：18－25、ヘブライ書11：8－16

アブラハムとサラの人生を振り返ると勝利もあれば敗北もあり、または寄り道もありました。

敗北・寄り道：

- \*創世記15章 カナンに行くように命じられたが、飢饉のためエジプトに行った。
- \*創世記12章 サラと組んで嘘をついた。
- \*サラの不信仰に負け、ハガルを通して子どもを設けた。
- \*創世記17章 神様の約束について笑った。
- \*サラも神様の約束について笑った。
- \*創世記21章 ハガルとイシュマエルを追い出した。

勝利：

- \*神に従い、住んでいたハランから旅立った。145歳の父を置いての旅だった。
- \*創世記13章 ロトとの摩擦を避け、良い土地を譲った。
- \*創世記14章 ロトを救出した。
- \*創世記15章 もう一度語られた時に神の約束を信じた。
- \*創世記18章 罪深い町を救おうとした。
- \*創世記21章 信仰が報われ、イサクが生まれた。
- \*創世記22章 神に試されたが、アブラハムはイサクを捧げようとした。
- \*創世記22、25章 イシュマエルの家族と比較しなかった。
- \*創世記23章 外国人として生き続けたことに対して苦々しくならなかった。
- \*創世記23章 最後まで妻サラに忠実だった。
- \*創世記24章 自分のためではなく、子孫のために信仰を持ち続けた。

アブラハムの信仰を見倣った生き方を目指しましょう。神様はあなたの人生に対して大きな夢があります。

信仰の祖であるアブラハムによって今日の私たちがいます。また、その他の信仰の先駆者たちによって、今日の私たちがいます。誰かがあなたから信仰を伝えられることを待っています。誰かの信仰の先輩になれるように祈って、神様を信じながら義の道を歩みましょう。

<深く考えるための質問>

- 1) あなたの人生の10年のBHAG(大きく神聖で大胆な目標)は何ですか。その夢を実現するために今月何ができますか？今週何ができますか。今日何ができますか。
- 2) 小グループの今年の夢は何ですか。2011年の3分の1が終わった現在、その目標に向かって真剣に生きていますか。今、小グループで継続的に学び会や教会に来ている友達がいますか。勉強している友達がいますか。そうなるために今何を個人的に、または小グループとして実行するべきでしょうか。